

<機械・農作業の共同化、集落営農または担い手への農地集積に取り組む事例>

## ○機械購入して農作業の共同化を図る

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	石川県 <small>すずしまわたり</small> 珠洲市馬渡協定			
協定面積 2.4ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 39.3万円	個人配分			54%
	共同取組活動 (46%)	農用地管理費		5%
		農道、水路の維持管理・補修等		33%
		研修費		2%
		役員報酬		6%
協定参加者	農業者5人			開始:平成12年度

### 2. 制度取組の経緯

当集落では、水稻を中心とした兼業農家が大半を占め、高齢化が進んで耕作継続さえも危惧される状態であった。そこで、農業者が本制度に加入して、耕作放棄地が発生しないよう集落で農用地の保全を図ることで意思統一し、機械の共同利用などに取り組む、集落全体で支え合いながら持続的な農業生産活動等の体制整備を行うことにした。

### 3. 取組の内容

当集落では、作業性の高い防除機の共同利用により、作業の効率化、営農の継続を図るとともに、集落ぐるみで農用地、農道、水路などの維持保全にきめ細かく取り組んできた。

また、多面的機能の増進活動として周辺林地の下草刈りを実施し、第2期対策時には非農家と連携して景観作物として菖蒲を休耕田に作付けし、集落の景観にも配慮してきた。

さらに、第3期対策からは、農業の継続が困難となった農地が生じた場合に備え、集落ぐるみで協定農用地を守る取り決めを行い、耕作の維持を図っている。



【共同作業による水路清掃】



【防除機共同利用による防除作業】

### [集落の将来像]

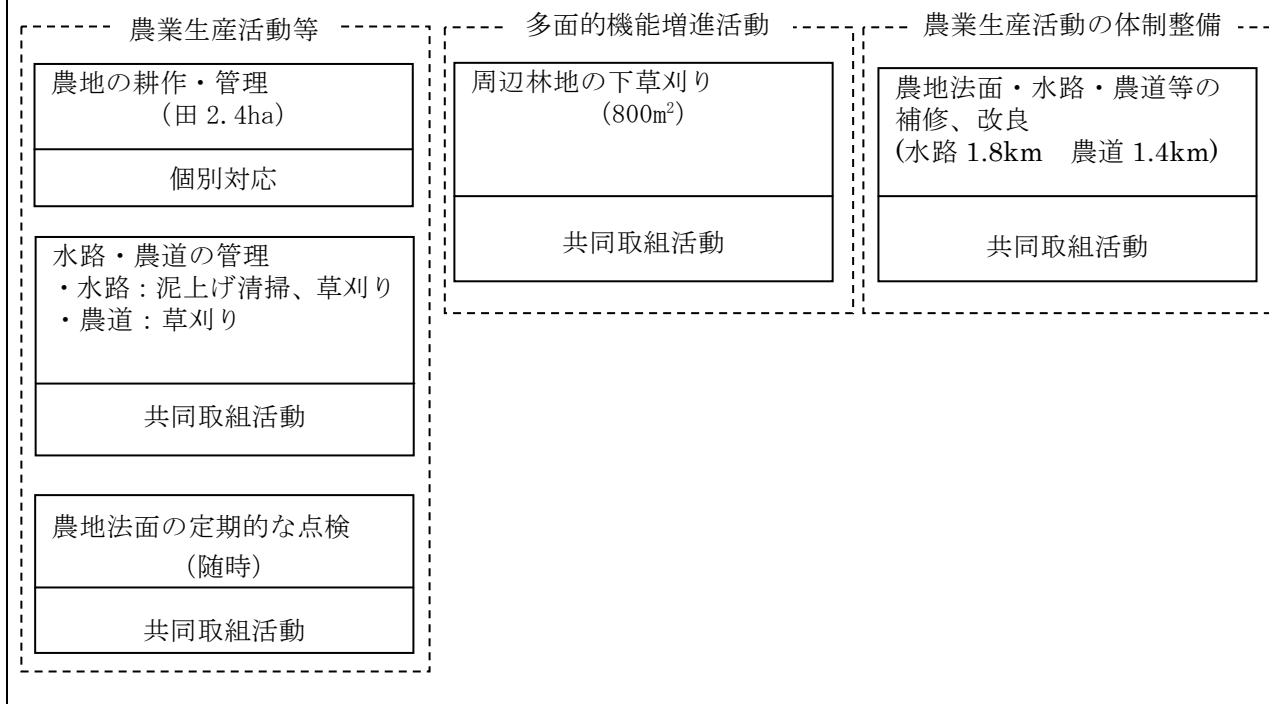
集落全体で支え合う農業を実施するために、機械の共同利用を行い、さらに非農家とも連携しながら、持続的な農業生産活動の体制を整備し、農地の多面的機能の保全を行う。さらに、後継者の育成や周辺集落と連携することも視野に入れ、地域の活性化にも努めていく。



### [将来像を実現するための活動目標]

○農業の継続が困難となった農地が生じた場合に備え、集落ぐるみの支援体制を維持する。

#### [活動内容]



## 4. 今後の課題等

本制度に取り組んだことで、一人一人が、農地を守っていく大切さを再認識することができ、集落内でも集まって話をする機会が増えて結束が高まり、集落機能の増進に繋がっている。

今後は、集落ぐるみの営農支援の体制を維持し、さらに多くの非農家の方々へ集落営農活動に協力してもらうよう話を進めたり、周辺集落との連携や後継者の育成などにも努めるなど前向きに本制度を活用していきたいと考えている。

### [これまでの主な効果]

- 機械の共同利用
  - ・防除機を購入し、共同利用による営農の効率化・低コスト化 1.5ha
- 景観作物の作付け
  - ・休耕田を活用した景観作物（菖蒲）の作付け
- 非農家、他集落と連携した一体的活動（農業施設の維持・管理）
  - ・非農家1名と連携して、水路の清掃・草刈り、周辺林地の草刈り、景観作物の作付けを実施